

輸出事業計画作成事業者

今後は、

- ・輸出事業計画を策定し、課題と取組内容を明確化して輸出拡大を図る
- ・品目団体と連携して海外需要開拓に取り組む

事業者に対して支援を重点化。
 (事業計画策定者は、輸出促進法に基づく融資等の支援を活用可能。)

輸出産地

特に、千トン超の輸出用米生産に取り組む産地は「輸出産地」としてリスト化し、重点的に支援。

戦略的輸出基地 (産地)

海外マーケットに対応可能な、質、数量、価格の面で競争力を有するコメの生産を推進。



戦略的輸出事業者 (卸、輸出商社、メーカー等)

輸出拡大の目標、当該目標達成のためのターゲット国・地域・市場及び取組方針を掲げ戦略的に海外市場を開拓。



産地と輸出事業者が一体となったマーケットイン型の海外需要開拓



輸出目標の達成に向けたコメ・コメ加工品輸出の飛躍的増加

支援

《国による支援》

- ・(新たに)輸出に取り組む事業者・産地に対するマッチング・相談等サポート
- ・輸入規制についての情報発信

《品目団体等による支援》

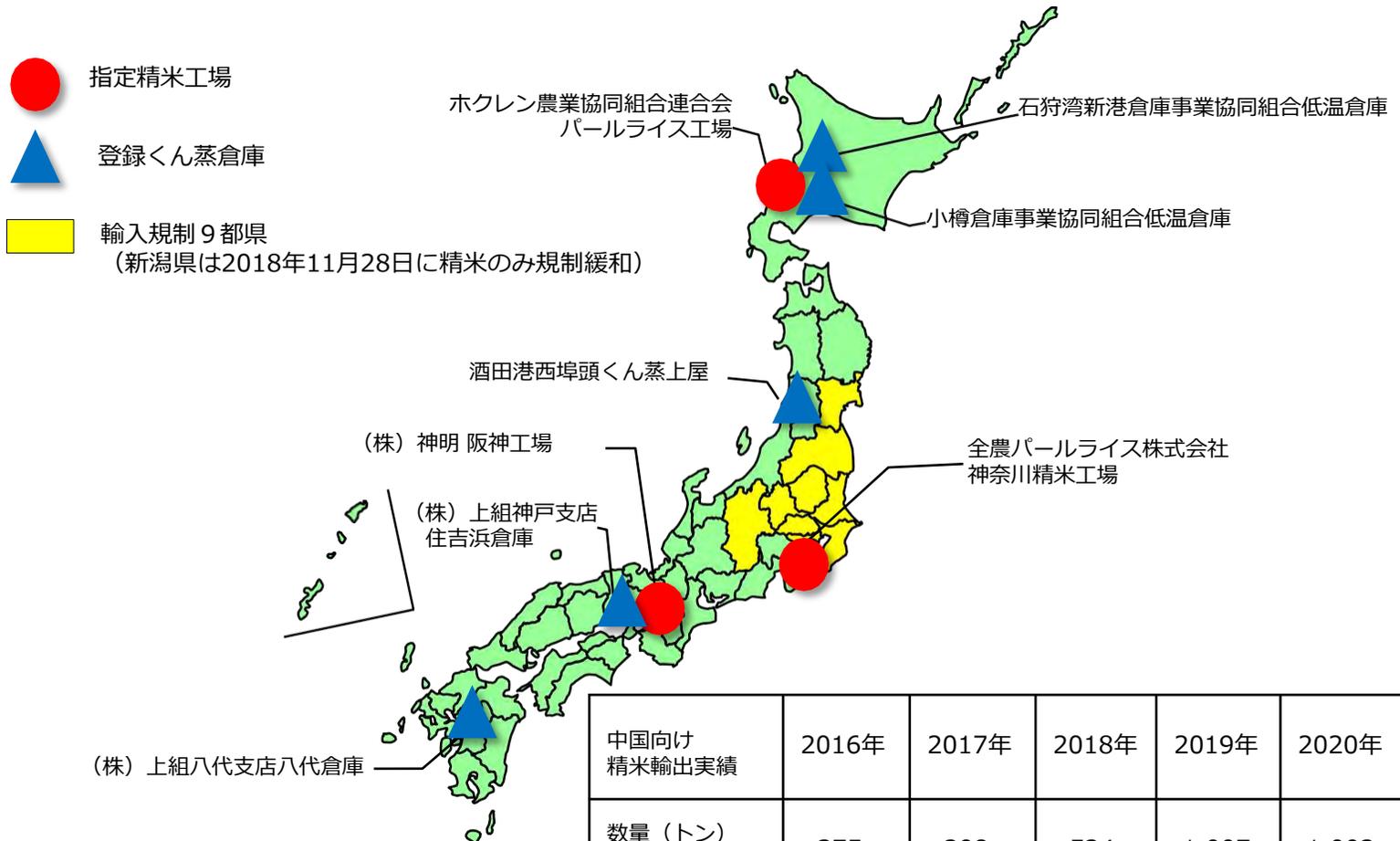
- ・海外マーケット動向についての情報発信
- ・専門家による相談対応等

国・品目団体等による支援

コメ海外市場拡大戦略プロジェクト

中国向けコメ輸出の状況

- 中国向けに精米を輸出するためには、指定精米工場における精米及び登録くん蒸倉庫におけるくん蒸が必要。
- 現在、指定精米工場は3か所、登録くん蒸倉庫は5か所。(2018年5月の日中首脳会談後、精米工場2施設及びくん蒸倉庫5施設が追加。)
- また、福島第一原子力発電所事故により、9都県産米の輸出が停止。(2018年11月に、新潟県産の精米の規制のみ緩和。)



中国向け 精米輸出実績	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 (1~5月)
数量 (トン)	375	298	524	1,007	1,002	575	764	292
金額 (百万円)	163	97	211	363	321	219	262	86

海外における実需者の事例

- 海外でも日本食人気・マーケットの拡大に伴い、数百トン～千トン規模で日本産米を調達する中食・外食事業者が存在。
- 今後**コメの輸出を大きく拡大**していくにあたっては、このような**中食・外食需要の開拓が重要**。

百農社国際有限公司（香港）

- 香港において、**日本米おむすび専門店（華御結、OMUSUBI）**を展開。現在、オフィス、ショッピングモール、地下鉄駅構内等に**133店舗**を展開（2023年7月中旬時点）。
- **米は全て日本産米を使用（農業法人や商社等から調達）**。具や惣菜等についても一部日本産を使用。店舗の拡大に伴い、**数百トン規模での食味のよい安定した品質のコメの供給を求めている**。



元気寿司（香港・シンガポール）

- 神明ホールディングスの子会社である元気寿司は**香港に87店舗、シンガポールに22店舗**等を展開。（2023年6月末時点。現地法人によるフランチャイズ。）
- **香港・シンガポールいずれの店舗においても日本産米使用をPR**。（JA登米（宮城県）が生産する輸出用米（ひとめぼれ、つきあかり）を使用。）

